

池田満寿夫展

2014年

5月22日(木)～6月22日(日) ※会期中無休

会場 パラミタミュージアム 第1-5展示室

開館時間 午前9時30分～午後5時30分
(入館は午後5時まで)

入館料 一般 1,000円(4枚セット券 3,000円)
大学生 800円 / 高校生 500円 / 中学生以下 無料



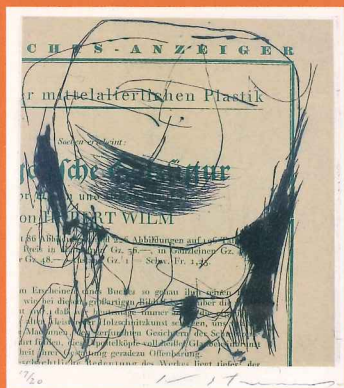
〈サムシング1〉1966年

主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
後援：中日新聞社、伊勢新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、
日本経済新聞社名古屋支社、NHK津放送局、三重テレビ放送、三重エフエム放送
特別協力：佐藤陽子

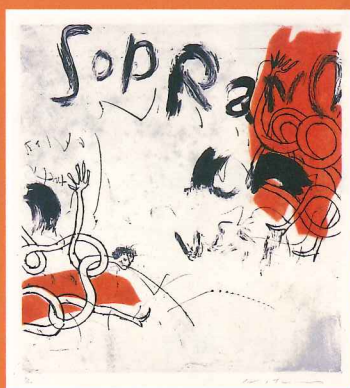
関連イベント

5月22日(木)午後2時～
佐藤陽子コンサート ピアノ：夢藤 哲彦
歌・ヴァイオリン・ピアノ・トークで楽しむ会

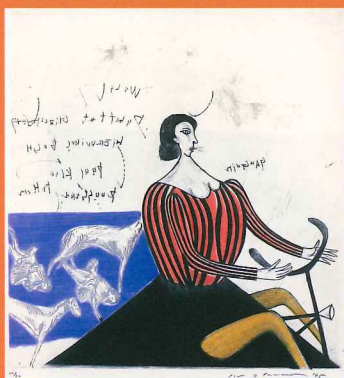
池田満寿夫展



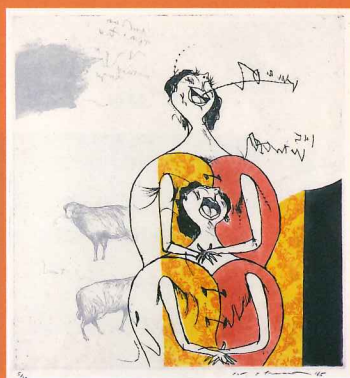
〈ムーンフェイス〉1961年



〈素敵なソプラノ〉1964年



〈ロマンチックな風景〉1965年



〈姉妹たち〉1965年



〈マリリンの半分〉1968年



〈セミ〉

〈花器〉

世界的版画家の池田満寿夫は1934(昭和9)年、旧満州に生まれましたが、小学校6年生で終戦を迎え、両親の郷里長野県に引き揚げました。その後東京藝術大学受験のため上京し、受験には失敗しますが、苦心の末に版画家としての人生を歩み始めました。そしてわずか23歳で東京国際版画ビエンナーレ展入選、26歳で同展文部大臣賞受賞、翌年パリ青年ビエンナーレ展優秀賞受賞など国際的にも版画家として目覚ましい活躍をしました。また、40代には小説「エーゲ海に捧ぐ」で芥川賞を受賞し、監督として映画を製作するなど、その多彩な才能は広く知られています。さらに50代には、陶芸を中心とした立体作品の制作にも取り組み、表現の幅をいっそう広げていきましたが、その最中63歳で急逝してしまいましたが、今も惜しまれます。

今回は池田満寿夫生誕80周年を記念し、ヴァイオリニスト佐藤陽子さん所蔵の池田作品と当館が所蔵する版画、陶芸、書などを一堂に展示します。また、「パラミタミュージアム」の館名の由来ともなっている陶彫「般若心経シリーズ」は当館のメインコレクションでもあり、池田満寿夫が手掛けた最期の金字塔とも言われています。この「般若心経シリーズ」も本展覧会に合わせて、およそ二年ぶりに全作品を展示します。この機会に池田満寿夫の幅広い芸術性をぜひご堪能下さい。



池田満寿夫記念館

住所：〒413-0102 静岡県熱海市下多賀1130-1
 電話：0557-68-3258
 (※平日の間合せ先：熱海市役所 生涯学習課 0557-86-6232)
 開館日：土・日・月曜日及び祝日
 午前9時00分～午後4時30分(最終入館午後4時)

次回展示のお知らせ

会期 平成26年6月26日(木)～7月27日(日)

第9回パラミタ陶芸大賞展

投票期間：6/26(木)～7/19(土) 大賞発表式：7/26(土)

全国の美術館・画廊・評論家などの推薦により上位6名をノミネートし、展示期間中、美術館に來館して頂いた方の投票により大賞を選びます。最多得票数獲得者一名に、第9回パラミタ陶芸大賞を授与します。

出品作家(五十音順)
 石山哲也(滋賀県甲賀市)／加藤亮太郎(岐阜県多治見市)／中村卓夫(石川県金沢市)／日野田崇(京都府京田辺市)／見附正康(石川県加賀市)／若杉聖子(兵庫県三田市)

萬古の名陶

パラミタミュージアムの1200点を超える収蔵萬古作品は、江戸期古萬古から昭和萬古までを網羅し、国内外から高い評価を受けています。今回はこれらの収蔵品から50点を超える萬古の名品を選び、一堂に展示します。

■お車をご利用の場合／東名阪「四日市」I.C.より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
 ■電車をご利用の場合／近鉄「四日市」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分、「大羽根園駅」下車、西へ300m。■全館バリアフリー、車椅子常備

paramitamuseum
 公益財団法人 岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com



http://www.paramitamuseum.com [パラミタミュージアム](#) [検索](#)